

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】令和 2 年 4 月 23 日 (2020.4.23)

【公開番号】特開 2018-193458 (P2018-193458A)

【公開日】平成 30 年 12 月 6 日 (2018.12.6)

【年通号数】公開・登録公報 2018-047

【出願番号】特願 2017-97495 (P2017-97495)

【国際特許分類】

C 0 8 F 214/08 (2006.01)

C 0 8 L 27/08 (2006.01)

B 6 5 D 65/40 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 F 214/08

C 0 8 L 27/08

B 6 5 D 65/40 D

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 3 月 10 日 (2020.3.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 3 】

[塩化ビニリデン - 塩化ビニル共重合体]

塩化ビニリデン系樹脂フィルムを形成している塩化ビニリデン - 塩化ビニル共重合体（以下、単に「共重合体」ともいう。）は、塩化ビニリデン由来の構成単位と塩化ビニル由来の構成単位とを含有する。上記共重合体は、例えば、塩化ビニリデン 60 ～ 98 質量% 及び塩化ビニル 2 ～ 40 質量%、好ましくは塩化ビニリデン 70 ～ 95 質量% 及び塩化ビニル 5 ～ 30 質量%、より好ましくは塩化ビニリデン 70 ～ 85 質量% 及び塩化ビニル 15 ～ 30 質量% を懸濁重合又は乳化重合して製造される。上記共重合体は、例えば、塩化ビニリデン由来の構成単位 60 ～ 98 質量% と塩化ビニル由来の構成単位 2 ～ 40 質量% とからなり、フィルム成形時の押出加工性と得られたフィルムのガスバリア性とのバランスが良好となりやすい点で、塩化ビニリデン由来の構成単位 70 ～ 95 質量% と塩化ビニル由来の構成単位 5 ～ 30 質量% とからなることが好ましく、塩化ビニリデン由来の構成単位 70 ～ 85 質量% と塩化ビニル由来の構成単位 15 ～ 30 質量% とからなることがより好ましい。